

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために……………	192
雨の日の快適ドライブ ……………	192
夏の快適ドライブ ……………	193
寒冷時の取り扱い ……………	194
タイヤチェーンについて ……………	198
●お手入れのしかた……………	199
外装のお手入れ ……………	199
内装のお手入れ ……………	202
その他のお手入れ ……………	204
タイヤの交換 ……………	206
●より良い環境のために……………	208
環境に配慮した省エネ運転をするために ……	208
使用済み部品は適切に処理しましょう ……	208

目次

△警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん


快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウィンドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口をにして、吸い込み口は外気導入にします。冬でもエアコンを活用してください。

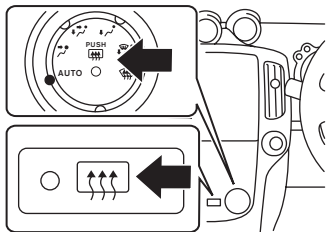
●窓ガラスのくもりの取りかた…
P.163、167

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

バックドアガラス（クーペ）、リヤウィンドーガラス（ロードスター）

リヤウィンドーデフォグスイッチ（●P.136）を使い、くもりを取ってください。



ZPA0207

※車種により、スイッチの位置と形状が異なります。

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。（●P.205）

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

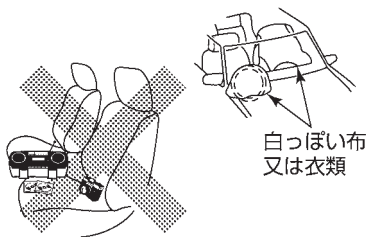
🔍オーバーヒートしたときは…P.215

🚗 アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

⚠️ 警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠️ 注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

目次

⚠️ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

- サービスデータ（エンジンオイル）…P.246

■バッテリー液の点検、補給

●メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

- サービスデータ（冷却水）…P.247

🚗 アドバイス

- 寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしています。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（●P.206）
- タイヤチェーンはお客様のタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（●P.198）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

- ウオッシャー液の補給…P.204

⚠️ 注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をおすすめします。

詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。



アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。



警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら


凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
 タイヤチェーンについて…P.198
- オートマチック車は、スノーモードスイッチ (OP.149) をONにします。

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなる場合があります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- オートマチック車はセレクトレバーをPに、マニュアル車はシフトレバーを1速又はRに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- ロードスターは、ソフトトップと車体の境目にホースなどで直接強い水圧で水をかけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- ロードスターは自動洗車機を使用しないでください。水漏れするおそれがあります。

目次

△警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

タイヤチェーンについて

19インチタイヤ装着車

- 19インチタイヤには純正チェーンの設定がありません。タイヤチェーンを装着するには18インチタイヤに交換する必要があります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

18インチタイヤ装着車

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。
- お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着できません。
- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
 - ・ ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コーラルなどが付着したとき。
 - ・ 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
 - ・ ほこり、汚れがひどいとき。

🚗 アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

ソフトトップのお手入れ（ロードスター）

ソフトトップの保護のため、定期的にお手入れをしてください。汚れたまま長期間放置すると、ソフトトップの生地を劣化させる原因になります。

- ほこりや汚れを柔らかいブラシやスポンジで取り除いたあと、きれいな水で洗い流してください。
- ソフトトップの汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。その後、洗剤が残らないように、きれいな水で洗い流してください。
- お手入れ後は、ソフトトップが完全に乾いてから開けて（格納して）ください。

🚗 アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。
- ソフトトップと車体の境目にホースなどで直接強い水圧で水をかけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- 洗車機を使用しないでください。水漏れするおそれがあります。
- ソフトトップがぬれていたり、湿った状態で開ける（格納する）と、車内に湿気によるシミ、白カビなどが発生する原因になります。完全に乾いていることを確認後、作動させてください。
- 長期間ソフトトップを格納しておかないでください。表面にしわができる原因になります。

目次

⚠️ 警告

🚶 走行する前に

🚶 走行するとき

🏠 室内装備の
使いかた🚗 車との上手な
つきあいかた

📅 万一のとき

📄 サービスデータ

📖 さくいん

洗車のしかた

■水洗いするとき

- ①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
 - ・汚れがひどいときは、ボディシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③はん点が残らないように水をふき取ります。



注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。



アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

ロードスターについて

- ソフトトップと車体の境目にホースなどで直接強い水圧で水をかけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- ソフトトップがぬれていたり、湿った状態で開ける（格納する）と、車内に湿気によるシミ、白カビなどが発生する原因になります。完全に乾いていることを確認してから作動させてください。

■洗車機を使うとき（クーペ）

※ロードスターは自動洗車機、高圧洗車機を使用しないでください。

自動洗車機

ドアミラー（P.69）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- バックビューモニター付車は、カメラレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。
- ※ 詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・ 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
 - ・ 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
 - ・ 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
 - ・ 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

内装のお手入れ

⚠ 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

📍フロアカーペット…P.190



TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

バックドアガラス（クーペ）、リヤウインドーガラス（ロードスター）の清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

本革部位のお手入れ*

■通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

- ①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

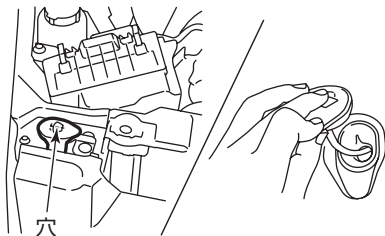
- ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。

- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウオッシャー液の残量が点検できます。

引き抜いたときにウオッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウオッシャータンクはほぼ空の状態です。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

○ウオッシャータンク容量…P.247



ZSD0007

⚠ 注意

- ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部につけないようにしてください。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

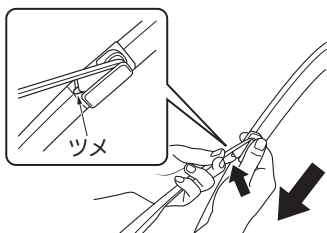
- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- クーペのフロントワイパーとリヤワイパーのウオッシャータンクは兼用です。

ワイパーブレードの交換

- ①ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
- ②ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。



ESE0953Z

- ③ブレードをアームから取り外します。
- ④新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠ 注意

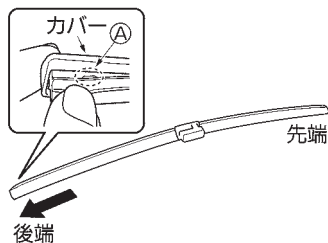
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

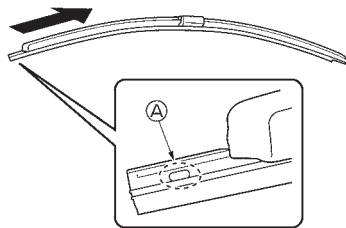
ワイパーゴムの交換

- ①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
- ②ワイパーゴムをⒶ部（後端）側からカバーをめくるようにして矢印方向にスライドし、取り外します。



ESE0954Z

- ③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
・ワイパーゴムのⒶ部がない側からブレードに沿って差し込み、ブレードのツメをⒶ部に入れて固定します。



ESE0955Z

🚗 アドバイス

- ワイパーゴムを取り外すときは、カバーを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると切れるおそれがあります。

📖 知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

タイヤの交換

⚠ 注意

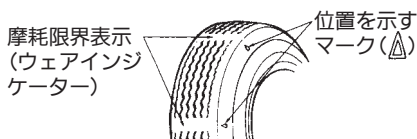
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

■ タイヤの位置交換 (ローテーション)

この車は前輪と後輪でタイヤサイズが異なるため、タイヤの位置交換はできません。

■ タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケータ）が表れたら、タイヤを交換してください。



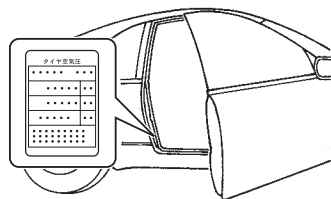
TCD0071Z

■ タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。

タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。扁平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。

- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



ZSD0010

⚠ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 径が異なるタイヤを装着すると、VDCのシステムが正常に作動しないことがあります。
次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
 - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
 - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- この車は、前輪と後輪のタイヤサイズが異なります。取り付け間違いを防止するために、前輪ブレーキローター部に誤組み付け防止用ピンが付いています。そのため、後輪を前輪に取り付けることができません。
ただし、スペアタイヤには誤組み付け防止用ピンの逃げ穴があるため、前輪、後輪どちらへも取り付け可能です。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

👉 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

より良い環境のために

環境に配慮した省エネ運転をするために

- **タイヤの空気圧を適正にしましょう**
定期的にタイヤ空気圧を点検しましょう。適正值で50km走行すると、50kPa減のときに比べて、約150ccの燃料を節約できます。
⇒CO₂ 1,250g削減（650km/月）
- **不要な荷物は降ろして走行しましょう**
10kgの荷物を降ろして50km走行すると、約15ccの燃料を節約できます。
⇒CO₂ 130g削減（650km/月）
- **計画的なドライブをしましょう**
地図やナビゲーションシステムなどを利用して、計画と準備をしましょう。また、交通情報を確認して渋滞を避ければ燃料と時間を節約できます。
- **駐停車のときはエンジンを止めましょう**
5分間アイドリングをやめると、約65ccの燃料を節約できます。
⇒CO₂ 420g削減（10回/月）
- **急発進、急加速を控えましょう**
急発進を1回やめると約17cc、急加速を1回やめると約11ccの燃料を節約できます。
⇒CO₂ 360g削減（各20回/月）
- **経済速度で走行しましょう**
一般道路では40～50km/h、高速道路では80km/hが経済的です。100km/h走行を80km/h走行にすると燃費が10～30%向上します。
※法定速度を守り、安全運転に心がけてください。
- **アクセル操作はなめらかにしましょう**
普通の発進より少し緩やかに発進しましょう。（最初の5秒で20km/hが目安）

● 上手なアクセル操作をしましょう

加速

加速終了後は、アクセルを少し多めにもどしてみましょう。シフトアップやロックアップが確実にでき、効率がよくなります。

下り坂と減速

早めにアクセルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。ガソリンエンジンでは燃料噴射の停止により燃費がよくなります。

● エアコンは控えめに使いましょう

エアコンを約6分間停止すると、約70ccの燃料を節約できます。

⇒CO₂ 1,340g削減（3時間/月）

※数値は、2,000ccクラスの乗用車（オートマチック車）の燃費11.7km/ℓ（10・15モード）を基準に算出しています。

※CO₂排出量はガソリン1ℓあたりのCO₂排出係数0.64で算出しています。

参考資料：

（社）日本自動車工業会「あしたへECO-MOTION」

（社）日本自動車連盟「ECO MANUAL 車に関する環境工コ基礎知識集」

使用済み部品は適切に処理しましょう

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、購入した販売店に処分を依頼してください。

エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（エアコンガス）も必ず適切な処理をしてください。